

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第 2 5 号

速報・海の教室

8月30・31日の両日に渡って「海の教室」が、神奈川県三浦半島にて実施されました。「海の教室」は「総合的な学習の時間」の一環として行われます。海辺での体験を中心とし、東中少人数教育を生かして、学校全体・全学年一斉に取り組む授業です。



若葉台東中学校周辺は、横浜市内でも有数の良好な自然環境を誇る地域です。里山の環境に恵まれた、この地域の自然環境の価値を再評価し今後の学習を充実したものとするためにも、里山とは異なった環境である海浜環境の中で様々な体験をすることは意味深い学習といえるでしょう。今回の「海の教室」は、曇り・雨・晴天有りと変化に富んだ1泊2日でした。今号を始めとして、「海の教室」の様子について随時紹介していく予定です。

若葉台東中学校周辺は、横浜市内でも有数の良好な自然環境を誇る地域です。里山の環境に恵まれた、この地域の自然環境の価値を再評価し今後の学習を充実したものとするためにも、里山とは異なった環境である海浜環境の中で様々な体験をすることは意味深い学習といえるでしょう。今回の「海の教室」は、曇り・雨・晴天有りと変化に富んだ1泊2日でした。今号を始めとして、「海の教室」の様子について随時紹介していく予定です。

東中「海の教室」とは

・1年生から3年生まで、全校一斉で行われる学習活動です。学習は、「総合的な学習の時間」のために編成された「わかばクラス」によって行われます。「わかばクラス」は定員15名前後で編成されており、全部で11クラスあります。各クラスとも、東中全教員が1年生から3年生までの混合メンバーを併せて担任しています。本年（2006年）で3年目を迎えました。

「海の教室」実施場所について

・神奈川県三浦半島先端部に近い相模湾側、初声町和田長浜という場所で実施されました。ここは、都市部に至近ながらも水質は良好であり、磯・浜・港など変化に富んだ海浜環境を有し、学習環境として魅力を備えています。体験学習用教材を発掘するにも好適な場所です。

「海の教室」における学習内容について

・「わかばクラス」には、「スポーツ系」・「創作系」・「自然科学系」の3コースが設けられています。系統毎に、例えば、「フィッシング・ビーチバレー・ビーチサッカー」「スケッチ・砂の彫刻・ビーチコーミング」「磯の生物観察・太陽熱調理・塩作り」など、様々な学習内容が展開されます。3年目を迎え、海浜環境を意識したゴミ拾いなど、興味深い、独自の学習テーマを設定する生徒も現れ始めました。

以上のような内容で実施された「海の教室」ですが、学習の中心はあくまでも生徒です。学習内容の設定から学習方法の計画、学習成果の発表に至るまで、全て生徒自身の手で進められます。教職員の役目は、充実した学習を実現するために、支援や補助を行うことです。子どもが自らの手で問題を発見し解決へと導く能力は、今後、自立した国際人となるための必須のアイテムといえるのではないのでしょうか。

